

大学校とは何か



2002年にドラマ「海猿」がテレビで放映され、話題になったのが国土交通省管轄の海上保安庁、海上保安大学校です。

よく生徒から進路に関することで聞かれるのが、「大学」(短大を含む)と「大学校」(短期大学校)はどう違うのですかという質問です。大学は文部科学省の管轄する機関であり、学校教育法に基づいて設置されて

います。

大学の修業年限は原則4年ですが、医学部医学科や薬学部薬学科などでは6年、短期大学だと2・3年となっています。大学は教育課程を修了すると学士、短期大学士、修士、博士、専門職学位などとなっています。

これに対して大学校は文部科学省以外の所管の学校となり、学校教育法に基づかない訓練施設などの名称として用いられます。大学校の名称は様々な形で用いられています。大学校の年限は各学校によって異なり、2年の大学校もあります。設置者も国、独立行政法人、地方公共団体、市区町村、職業訓練法人、株式会社、学校法人、社団法人、特定非営利活動法人、商工会議所、組合など、様々な形態があります。

国が設置している大学校のうち、防衛大学校、防衛医科大学校、海上保安大学校、気象大学校、航空保安大学校の本科並びに医学科、看護学科は入学と同時に国家公務員となり、給与が支給されます。また、授業料も免除されています。修業年限は防衛大学校、気象大学校は4年、防衛医科大学校の看護学科は4年、医学科は6年、海上保安大学校は4年9カ月、航空保安大学校は2年となっています。

給与(又は学生手当)に関しては同じ国家公務員ですが各大学校によって異なります。例えば、防衛医科大学医学科の場合、給与は月額117,200円、防衛大学校は月額117,000円、海上保安大学校は月額150,600円、航空保安大学校は月額159,636円、気象大学校は月額159,636円となっています(各省庁のHP等より)。他に年2回の賞与(いわゆる期末手当)が支給されます。他にも防衛大学校、防衛医科大学校、海上保安大学校等では無料の学生寮に住み、制服、寝具なども貸与されます。食事は防衛大学校、防衛医科大学校は貸与ですが、他の大学校では、食事や教科書代は自己負担となっています。

これら国の設置している大学校で学士の称号を得られますが、2年間の航空保安大学校

では学士の称号を得ることはできません。これ以外に給与をもらえる学校には警察学校、消防学校、海上保安学校もありますが、採用された職員の研修機関として設置されています。これに対して警察大学校や消防大学校は幹部職員等を養成するための大学校です。他に自治大学校、税務大学校、国土交通大学校は各省庁の文教研修施設となっています。

国の設置している大学校のうち、次にあげる大学校には入学する学生に年齢制限があります。防衛大学校、防衛医科大学校は 20 歳以下、航空保安大学校は高卒後 3 年以内、気象大学校と海上保安大学校は 19 歳以下となっています。

高校生の受験できる防衛大学校、防衛医科大学校、海上保安大学校、気象大学校、航空保安大学校には、各大学校により入試科目が異なります。防衛大学校の入試には、推薦、総合選抜、一般の募集があり、推薦、総合選抜でも、学力試験等の試験は課されます。例えば、推薦の場合に人文・社会科学専攻では英語及び小論文の学力試験、口述試験及び身体検査となっており、理工学専攻は英語、数学、理科の学力試験、口述試験及び身体検査となっています。一般の入試科目では、人文・社会科学専攻は英語、国語、数学・日本史・世界史から 1 科目選択、小論文となっており、理工学専攻は英語、数学、理科の物理・化学から 1 科目選択、小論文となっています。防衛医科大学校の入試科目は、国語、数学、理科(物・化・生)、英語、小論文、2 次試験で口述試験と身体検査となっており、医学科は理科 2 科目必須となっています。看護学科の入試科目は、国語、英語、数学、理科(物・化・生より 1 科目)、2 次試験で小論文、口述試験、身体検査となっています。

国が設置している大学校に関しての詳細は、各自で設置者に問い合わせてください。防衛大学校、防衛医科大学校は防衛省、海上保安大学校は海上保安庁、気象大学校は気象庁、航空保安大学校は国土交通省が設置者となります。

独立行政法人が設置している大学校には、水産大学校、農業者大学校、海技大学校、海上技術大学校、航空大学校、国立看護大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校などがあります。横浜港の本牧には職業能力開発短期大学校の港湾職業能力開発短期大学校横浜校があります。港湾職業能力開発短期大学校横浜校は、日本を代表する国際貿易港横浜港の本牧ふ頭に位置し、港湾や物流業界の要望に対応できる人材を育成している短期大学校です。入校料(入学金)は 169,200 円、授業料年間 390,000 円と安く、各種資格が取得できることで、毎年就職率は 100%、求人倍率も令和 2 年度には 5.55 倍となっています。

都道府県や市町村で設置している農業大学校、職業能力開発校がありますが、株式会社で設置している大学校の例として県内には専門学校日産横浜自動車大学校があります。企業の大学校は、自社の国家資格技術者の育成を目的に設置されています。2 年生の自動車整備科のみならず 4 年生の一級自動車工学科を設置しています。一級自動車工学科は、クルマの未来を担うリーダーを育成するために設置されています。

紙面の関係で詳細を示すことができない大学校は数多くあります。大学校に興味関心を持った人は各自で調べてください。